

経営比較分析表（平成29年度決算）

東京都 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	30	対象	透1 訓方	救護が災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	61,619	非該当	7：1	

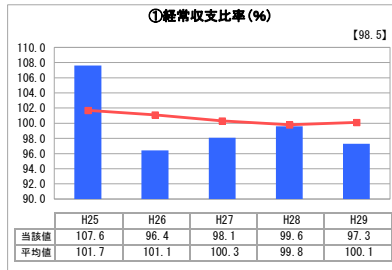
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
520	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
30	-	550
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
550	-	550

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
[] 平成29年度全国平均

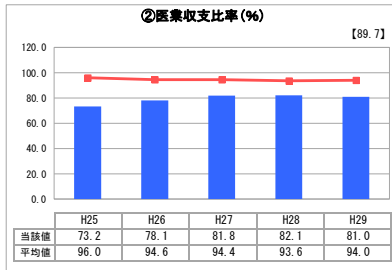
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

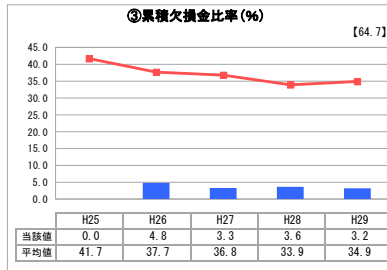
1. 経営の健全性・効率性



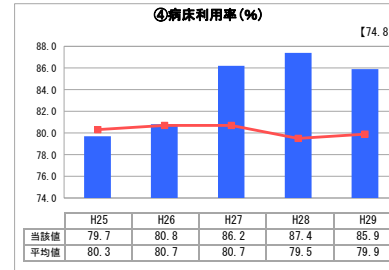
「経常損益」



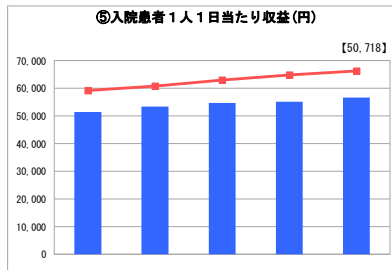
「医業損益」



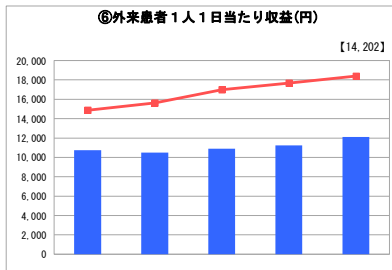
「累積欠損」



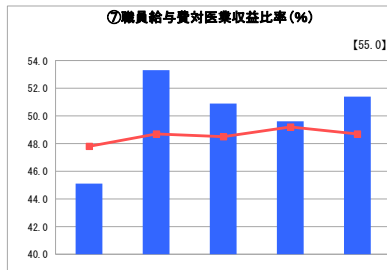
「施設の効率性」



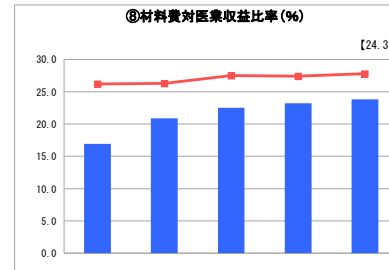
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

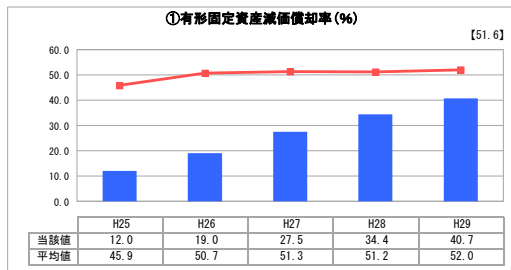


「費用の効率性①」

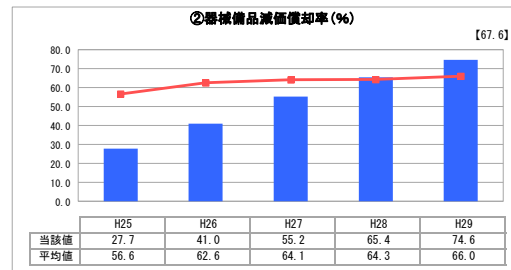


「費用の効率性②」

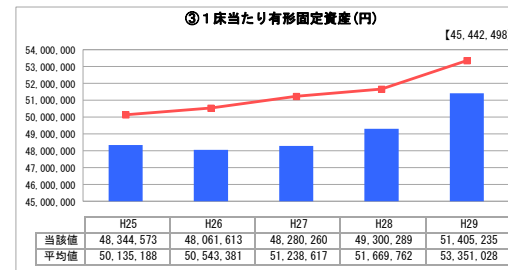
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

- ・3つの重点医療（血管病医療、高齢者がん医療、認知症医療）を中心に、高齢者に特有な疾患に対応した専門医療を提供しています。
- ・二次救急医療機関として、救急患者を積極的に受け入れています。
- ・法人が蓄積してきた高齢者医療・研究の実績等を活用して、医療・介護を支える専門人材を育成しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・「①経常収支比率」は100%未満、「②医業収支比率」も類似病院平均値を下回っています。引き続き、経営改善に取り組む必要があります。
- ・「③累積欠損金比率」は類似病院平均値を大きく下回っています。なお、業務活動によるキャッシュフローは黒字を維持しており、経営上支障はありません。
- ・新規入院患者の獲得、退院支援の強化等に努めた結果、「④病床利用率」は類似病院平均値に比べて高い水準を維持しています。
- ・「⑤入院患者1人1日あたり収益」及び「⑥外来患者1人1日あたり収益」は、類似病院平均値を下回っているものの、地域連携の推進等の取組により、上昇傾向にあります。
- ・「⑦職員給与対医業収益比率」は類似病院平均値を上回っており、「⑧材料費対医業収益比率」は類似病院平均値を下回っているものの上昇傾向にあります。引き続き、コスト管理の強化に取り組む必要があります。

2. 老朽化の状況について

- ・平成25年に新施設に移転しており、「①法人の有形固定資産減価償却率」は、類似病院平均値に比べて低い水準で推移しています。
- ・医療機器に関して、「②機械備品減価償却率」は増加傾向にあり、類似病院平均値を上回っていますが、使用期間や稼働状況を確認しながら計画的な更新に取り組んでいます。
- ・「③1床あたり有形固定資産」は増加傾向にあります。類似病院平均値を下回っています。

全体総括

- ・当センターは、設立団体である東京都が定める中期目標、そして当センターが中期目標に基づき定める中期計画に則り、東京都における高齢者医療・研究の拠点として、三つの重点医療をはじめ、高齢者の生活機能の維持・回復のための医療の提供等に取り組む、高齢者の健康長寿や生活の質の向上に貢献してきました。
- ・今後も、その役割を十分に果たすため、地方独立行政法人としての特性を生かし業務の効率化を図るとともに、収入の確保と費用の削減に努め、法人運営の基盤となる経営基盤の強化に向けた取組を進めていきます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。